

令和7年度地域連携推進会議議事録

(社会福祉法人 信成会 共同生活援助 すてっぷはうす)

- 1、 日 時：令和8年2月12日（木） 15：30～16：30
- 2、 場 所：ふるさと学園会議室
- 3、 出席者9名

構成員	役職 等
すてっぷはうす利用者 A 様	利用者代表
すてっぷはうす利用者家族 B 様	家族代表
C 様	東市来社会福祉協議会 支所長（地域の福祉に知見を有する方）
D 様	医療法人 守屋病院 元事務長（経営に知見を有する方）
E 様	日置市基幹相談支援センター（行政）
河野 史代	社会福祉法人信成会 理事長
野田 素子	社会福祉法人信成会 統括施設長
古菌 真一	社会福祉法人信成会 課長
南 美香	ふるさと学園 主任

4、 会議の内容

(1) 開会のあいさつ（理事長）

理事長が地域連携推進会議開催にあたり、保護者、地域の皆様、関係機関への感謝を伝え、地域連携推進会議の意義の説明を行った。

(2) 出席者紹介・自己紹介

出席者全員による自己紹介を行った

(3) 地域連携推進会議について説明（古菌課長）

- 地域連携会議の意義、目的について
地域連携推進会議についての説明を行う。

(4) 施設からの報告

- 施設の概要について（野田施設長）
以下の3点について説明資料や画像をモニターへ映し説明を行う。
 - ① 法人の基本理念。
 - ② 基本理念4つの柱。
 - ③ 各事業の紹介（ふるさと学園、すてっぷはうす、ふるさとのWA、ふるさとの森）。

○ 権利擁護、ヒヤリハットについて（古園課長）

<令和7年度人権擁護・虐待防止研修の取り組み>

- ・ 施設内全体研修の実施状況。
年間5回の施設内研修を実施。
（うち1回は外部講師として弁護士の先生を招いての研修）
- ・ 外部研修への参加状況。
8月～1月の間に8回の外部研修に参加した。それぞれ1～2名の職員が受講し、研修参加後は全体研修で報告を行い、全職員への周知を図っている。
- ・ 人権擁護チェックリスト。
毎月1日に全職員が人権擁護チェックリストの記入を行い、自身の日々の支援について見つめなおす時間に行っている。

<ヒヤリハット集計>

- ・ ヒヤリハット報告書様式。
ヒヤリハット報告書の様式や提出方法、改善の流れについて説明。
- ・ 月別発生件数。
4月～12月の期間に168件のヒヤリハット報告があがる。
（5月2件、8月1件の合計3件は通院が必要となったため、市へ事故として報告）
- ・ 内容別件数。
利用者様の安全に関することが全体の45%にあたる。

<施設の災害対策、BCP>

- ・ 障害者支援施設のBCP（事業継続計画）概要。
BCP作成の目的・義務を説明。
- ・ 社会福祉法人信成会BCP（事業継続計画）
本法人のBCPの内容についての説明（3日間の食料と非常食を備蓄）。

○ 施設の経営状況（古園課長）

- ・ 令和6年度信成会決算報告。
決算報告書をもとに令和6年度の経営状況について報告。
外部委託している経営コンサルタントからも厳しい経済状況の中でも健全な経営ができている、との評価をいただいている。令和7年度も前年度同様の収支になる見込みを伝える。

(5) 施設参観（すてっぷはうす1・2）

○ 施設内の見学

- ・ グループホームへ移動 すてっぷはうす1・2建物内の案内
居室・食堂・浴室等の見学を行った。その際、入所利用者様と触れ合い、意見を聞く時間を設定した。

(6) 各構成員からのご意見・ご助言

○ すてっぷはうす利用者家族 B 様（家族代表）

- ・ グループホームは増えるのですか？

→ 現在、土地を造成しています。ただ、土地が広がっても入所棟増築の計画なので現在のところグループホームを増やす計画は立てていない状況です。（河野理事長）

○ E 様（行政）

- ・ BCP は事業所ごとに作成していますか

→ 事業所ごとに作成しております。（古園課長）

○ D 様（経営に知見を有する方）

- ・ 家庭的で温かい雰囲気を感じました。プライバシーも確保された作りになっていると思います。また室内も明るく、荷物も片付けられていました。

(7) 閉会のあいさつ（施設長）

施設長が構成員へ会議参加への御礼と今後の協力をお願いを伝え閉会した。